



### 公明府中行政視察について（報告）

このことについて、次のとおり実施いたしましたので報告します。

- 1 期間 令和4年12月15日（木）～16日（金）
- 2 視察地及び目的 (1) 直島町 ベネッセハウスミュージアムの概要について  
地中美術館の概要について  
家プロジェクト角屋の概要について  
(2) 倉敷市 ボートレース児島の概要について  
本場の集客拡大と災害対策の取り組みについて
- 3 視察者
- |        |               |               |
|--------|---------------|---------------|
| 福田 千夏  | 府中市是政3-16-4   | 090-1792-3643 |
| 西村 陸   | 府中市白糸台3-36-18 | 070-5554-0060 |
| 遠田 宗雄  | 府中市晴見町1-23-27 | 090-8877-9033 |
| 奈良崎 久和 | 府中市西原町3-24-19 | 090-1405-3582 |
| 高津 みどり | 府中市美好町2-27-10 | 090-5574-5680 |

- 4 視察内容  
(1) 直島町  
■町の概要

直島町は、香川県高松市の北約13kmの瀬戸内海にあるが、岡山県玉野市からは約3kmと近いため経済的には距離の近い岡山県への依存度が高くなっている。

歴史は古く平安時代には保元の乱で敗れた崇徳天皇や応神天皇が立ち寄ったことが記されている。また戦国時代末期には直島城が築城され城下町として本村などが整備されている。その後、江戸時代には廻船業（北前船）などで活躍する家もあった。大正時代には中央精錬所が操業を開始し、三菱金属鉱業の企業城下町として急速に発展したが、一方では島の半分の木々がかかる煙害に悩んだ。本四架橋の見送りもあり「アート」の島として再生するまで町勢は停滞している。

しかし、1989年に福武書店（現・ベネッセコーポレーション）創業者の福武哲彦と当時の直島町長・三宅親連により安藤忠雄のマスタープランにより研修所・キャンプ場がオープン。1992年にはホテル・美術館が完成する。

直島は、現在日本の離島ランキングで小豆島、石垣島に次いで3位、観光でも東京、京都に次いで3位にあり島全体が美術館、アートの島として脚光を浴びている。

#### ■視察項目 ベネッセハウスミュージアム/地中美術館/家プロジェクト角屋の概要について

担当者

直島文化村/ベネッセハウス代表取締役社長 笠原 良二

直島文化村/ベネッセハウスゲストリレーションズ部チーフ 崔 廣榮

#### ■視察内容

直島文化村ほか、島内のアート活動の総称を「ベネッセアートサイト直島」に改称し、直島以外では見られない限定的な作品づくりと、安藤忠雄の美術館建築や直島の魅力に海外からも高い評価を得た取り組みが府中の魅力あるまちづくりの参考になるのではないかとの思いから視察研修を実施した。

初めに訪問前から様々なご提案をいただいた崔チーフ並びにスタッフより歓迎のご挨拶をいただき、福田幹事長が視察を受け入れていただいたことへの御礼と府中市の概要などを話したあと、ベネッセハウスミュージアム/地中美術館/家プロジェクト角屋の概要について様々な角度から学ばせていただく事に感謝し挨拶とした。

直島文化村/ベネッセハウス代表取締役社長 笠原 良二氏より直島町の主な概要と歴史、さらにアートの島として世界から注目されるようになった経過をパワーポイントなどを活用し、詳細な説明があった。

安藤忠雄氏の設計による美術館とホテルの複合施設であるベネッセハウスを核とした観光コースが国内よりも欧米の高級リゾートホテル誌に取り上げられることが多く、魅力あふれる島として高い評価を得ている。

その取り組みの一つに島内の無名の、普通の場所を現代アート作品（代表的なものとして草間彌生さんの南瓜など）をつかって、その場所がどこかすぐにわかる場所になる。ブランド価値を上げることに取り組んできた」と説明を受け、笠原社長の「経済は文化の僕」との言葉が印象的だった。

議員からは直島島民の生活圏は岡山県にあるが行政的には香川県に属していることなどから運営面などでの課題や、屋外の作品が多いことから作品を維持していく事の課題について質問。一例として草間彌生さんの赤い南瓜の作品は直島町に寄付されており3年に1回補修しているがほっとくとイメージが下がる。いったんクローズすることも必要だ。高齢者のためのアートか子どもたちのためのアートなのか、どのアートを取り込むのか考えながら永久設置できる一流をめざすものであれば金沢21世紀美術館など、ジャンルではなくレベルとしての取り組みが大切なことなど、予定時間を延長しながら幅広い意見交換ができた。

その後、崔チーフの案内でベネッセハウスミュージアムの館内作品を鑑賞、オンラインチケットによる予約制での鑑賞方法を取り入れている地中美術館、自由に見学ができる本村の角屋など家プロジェクトの作品を鑑賞することが出来た。

#### ■感想

なぜ瀬戸内海に浮かぶ直島が欧米を中心に世界から観光客が訪れるのかその魅力を府中市においても浅間山や多摩川などの自然や誰もが楽しめる観光コースとしての魅力をサイトスペシフィック・ワークアートを活かした取り組みができるのでないか。例えば府中市美術館や郷土の森などにアート作品を展示し府中市のシンボルタワーとして取り組むなど賑わいのあるまちの創設にも寄与できるのではないかと感じた。

## (2) 倉敷市

### ■市の概要

倉敷市は岡山県では岡山市に次いで2番目となる47万人の人口を擁し、江戸時代には幕府直轄地が置かれ発展の礎となったが、白壁の街並みは美観地区として保存されており、国内外から多くの観光客が訪れている。

今回の視察先であるボートレース児島のある児島地区は古くからの綿花を使った機織りが盛んとなり繊維の街・児島としてシーズの生産が始まり、児島シーズンストリートとして愛されている。また、1988年には香川県・坂出市を結ぶ瀬戸大橋が完成している。

### ■視察項目 ボートレース児島の概要/本場の集客拡大と災害対策の取り組みについて

担当者

倉敷市モーターボート競争事業管理者 矢島 薫

倉敷市ボートレース事務局参事 豊田 幸治

クラシキン ジムキョク ケイエイカンリカチョウ タナカ マレユキ  
倉敷市ボートレース事務局経営管理課長 田中 希幸

### ■視察内容

ボートレースは公営競技の中で中央競馬（JRA）に次ぐ売り上げを誇っている。また電話やインターネットを活用した投票の電子化が進んでおりボートレース全体のファン層は増加傾向にある。しかし、レースが行われる本場の来場者数が極端な減少傾向にあることは府中市が主催するボートレース平和島も同様なことから概要と本場の集客拡大や災害対策について視察した。

田中課長の案内で、スタンド棟5階の来賓室にて矢島管理者より歓迎のご挨拶をいただき、福田幹事長より視察受け入れに対する御礼を述べた。その後、豊田参事を加え施設の概要説明を受け視察資料「ボートレース児島の現状と今後」をベースに丁寧な説明をいただいた。

ボートレース児島は1952年に開設され、2022年に開設70周年を迎えた。開設70周年記念事業を展開しながら2026年(令和8年)にスタンド棟を改修しグランドオープンをめざしている。視察項目に照らしながら、「ボートレース児島の売り上げについて」「ボートレース児島の施設について」「ボートレース児島の今後について」の三章に分けて質疑させていただいた。

ボートレース児島の売り上げについては、他場同様に電話投票が好調に伸びている一方で本場の売り上げは減少傾向にある。収益金から一般会計への繰り出しは開設から2021年度までに1344億円。教育や社会福祉、生活環境の改善等に寄与してきた。2018年の豪雨災害からの復旧・復興のために設置した「倉敷市災害復興基金」や新型コロナウイルス感染症対策の財源として2020年度までに30億円を充てることが出来たと説明を受けた。

「ボートレース児島の施設について」さらに地域社会に貢献することをめざし毎年開催される「せんい児島瀬戸大橋まつり」の会場として、「倉敷国際トライアスロン大会」ではスイムの部で競争水面を提供、また地域経済の活性化の取り組みとして来賓者への記念品を市内の老舗や福祉作業所から購入。親子で参加するスポーツイベントの開催、児島の繊維産業の代表であるデニム等をボートレース事業に取り入れている等、地域経済の活性化にも寄与しているとの説明を受けた。説明者からは本場のある児島地域(旧児島市)のシーズンストリートの見学を強く勧められたが地場産業を大切にしながら事業展開をしている事が伺えた。

「ボートレース児島の今後について」は施設整備基本構想を策定した。策定の背景としてレースが行われる本場での売り上げ、来場者の減少から現在の施設規模は過大であること。スタンド棟が建設から40年が経過し老朽化による維持コストが増加していること。女性や子育てファミリーなど地域の方が集える場所として「市民の憩いとなるボートレース場」への施設整備をめざしアンケートを実施し施設規模のコンパクト化や屋内キッズランドを配置する等の改修を図るとし、2026年のグランドオープンに期待しているとの説明を受けた。

「防災機能の整備」として、①高潮浸水時などに高層階への垂直避難及び一時的避難を可能とし、避難物資の備蓄。②自家用車の一時避難場所としての機能を検討(立体駐車場など) ③災害発生前の防災・減災資材(ブルーシートなど)の備蓄倉庫確保など災害対策を考え、地域と共に愛されるボートレース場をめざしているとの説明を受けた。

#### ■感想

ボートレース平和島の運営について本場の集客拡大の必要性を様々な提案・要望してきたが、ボートレース児島もレースが行われる本場の整備を市民アンケートから考え、地域の方が集えるボートレース場をめざしていることに共感した。さらに防災面においても海岸線にあることから考えられる災害を想定した垂直避難や避難物資の備蓄など、施設のある大田区や隣接する品川区民にとっても安全・安心を提供できるボートレース場として理解されることがボートレース平和島を主催する府中市にとっても有効な取り組みであると感じた。

ボートレース平和島も施設が老朽化していることから、しっかりしたコンセプトのもと、できるだけ早く施設整備を実施すべきであると感じた視察であった。

## 5 添付資料

ア) 説明者等の名刺写し(A4で2枚・別添)

イ) 行政視察中の写真 ■ベネッセハウスミュージアム、地中海美術館に於いて

ウ) 直島町

- ①ベネッセハウスミュージアムガイド
- ②地中海美術館ガイド
- ③イエプロジェクトワンサイトチケット

エ) 倉敷市

- ①ボートレース児島の現状と今後 ～地域とともに、愛されるボートレース場を目指して～
- ②ボートレース児島 舟券傾向と対策
- ③ボートレース児島レース場ガイド
- ④ボートレース児島70周年キッズスポーツフェス ～みんなで遊ぼう～
- ⑤児島ジーンズストリートマップ

ア) 説明者等の名刺写し(A4で2枚・別添)



代表取締役社長

笠原 良二

株式会社直島文化村／ベネッセハウス  
〒761-3110 香川県香川郡直島町364番地1  
Tel: 087-892-2030(代表) Tel: 087-892-3223(予約専用)  
Mobile: 090-7131-9309 Fax: 087-892-2259  
E-mail: rkasahara@naoshima-is.co.jp URL: http://benesse-artsite.jp/



ベネッセハウス ゲストリレーションズ部  
チーフ

崔 廣榮

株式会社直島文化村  
〒761-3110 香川県香川郡直島町364番地1  
Tel: 087-892-3246(ツアーデスク) Fax: 087-892-2166  
Tel: 070-3765-1848(携帯) E-mail: ksai@naoshima-is.co.jp  
E-mail: bhgr@naoshima-is.co.jp URL: http://benesse-artsite.jp/

28th オープンカップ  
**OCEAN CUP** 中国地区選手権競走  
2023.7/18(土)・19(日)・20(月)・21(火)・22(水)・23(木)  
2 5 6 7 8 9 10

みなさまとともに、これからも、これからも。  
**BOAT RACE 児島** 70th Anniversary  
倉敷市モーターボート競走事業管理者

矢島 薫  
Yashima Kaoru



〒711-8567 倉敷市児島元浜町6-3  
TEL: 086-472-5051 Fax: 086-474-5929  
MAIL: k-yashima@brkojima.jp

第28回 **OCEAN CUP** 児島初開催! 18 19 20 21 22 23  
2023/7 TUE WED THU FRI SAT SUN

倉敷市ボートレース事業局  
参事 豊田 浩二  
Toyota Kouji



〒711-8567 倉敷市児島元浜町6-3  
TEL: 086-472-5051  
FAX: 086-474-5929  
MAIL: k-toyota@brkojima.jp

みなさまとともに、これからも、これからも。  
**BOAT RACE 児島** 70th Anniversary

第28回 **OCEAN CUP** 児島初開催! 18 19 20 21 22 23  
2023/7 TUE WED THU FRI SAT SUN

倉敷市ボートレース事業局  
経営管理課  
課長 田中 希幸  
Tanaka Mareyuki

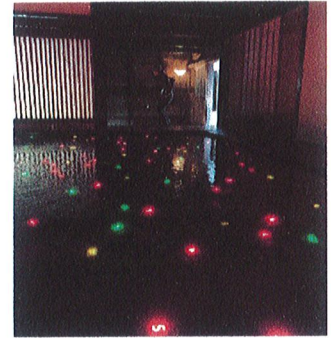
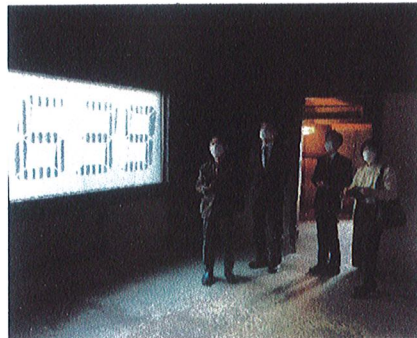
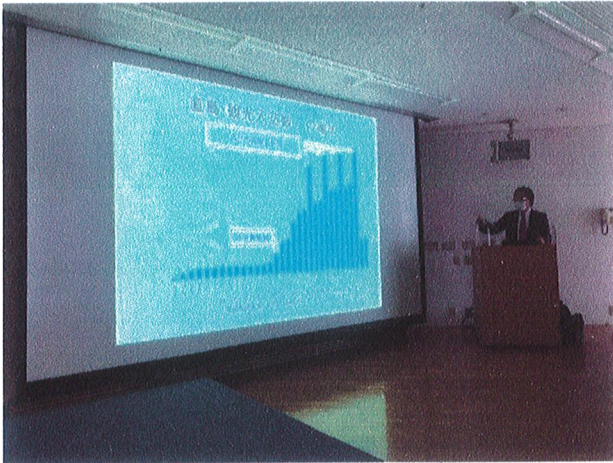
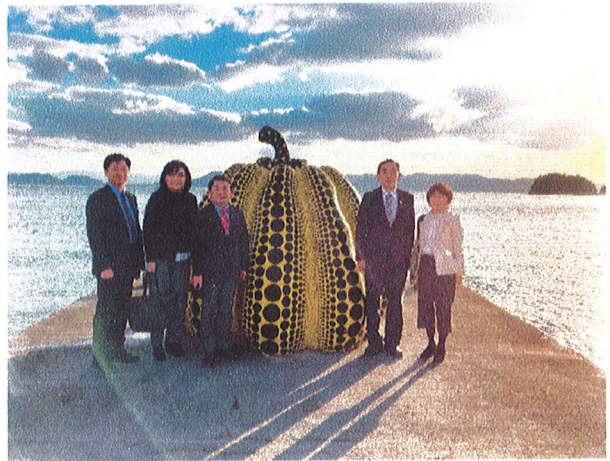


〒711-8567 倉敷市児島元浜町6番地3  
TEL: 086-472-5051  
FAX: 086-474-5929  
MAIL: m-tanaka@brkojima.jp  
ボートレース児島の収益金は、倉敷市民の暮らしに役立っています

みなさまとともに、これからも、これからも。  
**BOAT RACE 児島** 70th Anniversary



イ) 行政視察中の写真 ■ベネッセハウスミュージアム、地中美術館に於いて



■ボートレース児島に於いて

